

平成 31 年度狛江市行政提案型市民協働事業

「出生届記念品等の作成」事業報告書

狛江市・一般財団法人狛江市文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会

(令和2年3月)

1. 事業実施目的

一般財団法人狛江市文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会と狛江市が協力し、出生届出の際に記念となる写真台紙を贈呈します。このことにより、出生という一大イベントの記念となることと同時に、台紙には絵手紙を散りばめ「絵手紙発祥の地」であることを感じてもらいながら、狛江市に一層愛着を持ってもらうと同時に、ふるさと意識の向上やシビックプライドの醸成を目指します。

2. 主体

狛江市

一般財団法人狛江市文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会

3. 事業形態

狛江市と一般財団法人狛江市文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会との市民協働事業

4. 主たる制作者名簿

一般財団法人狛江市文化振興事業団「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会

所 属	氏 名
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	小玉 真砂子
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	高橋 映子
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	小池 恭子
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	重森 孝子
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	石賀 敦子
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	曾田 幸恵
「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会	石原 隆江

5. 作成作業経過

	概要	作業内容	実施日
1	顔合わせ・作業の説明	協働事業の概要について説明	令和元年6月27日
2	作成作業	掲載内容の検討（色・構図等）	令和元年7月25日から 令和元年11月28日まで
3	作成会議	最終案等の検討	令和元年12月13日

4	確認作業	掲載内容の確認（色・構図）	令和元年 12 月 16 日
5	承認作業	最終案の確認	令和元年 12 月 18 日
6	事業担当課による確認	構成の確認	令和2年 2 月 14 日
7	報告	出生記念台紙の確認	令和2年 3 月 13 日

6. 作成作業内容

・出生届を取り巻く状況の把握

出生届を提出した際に思い出として残るものは何か。また、出生を通じ狛江市をふるさととして感じていただけるものは何かを検討しました。

・掲載内容の方針等の決定

一生の思い出として残るものとしては、出生時に子どもを撮影した記録をとどめておけるものとして写真台紙が望ましいと決定しました。

市は 2007 年から「絵手紙発祥の地」を標榜し、季節の草花や生き物、風景を描くことを文化事業の柱の一つとして推奨しています。「絵手紙発祥の地—狛江」実行委員会はその活動の中心となり、絵手紙を全国に発信していることから、狛江市をふるさととして感じてもらえる絵手紙を使用した写真台紙を作成することとしました。

・台紙掲載内容の検討・協議

狛江をより深く知っていただくことや興味を更に持っていただくことを目的に狛江の景勝地や、市の木であるいちょう、市の花であるつつじを掲載することにしました。また、市は平成 30 年 4 月から GAP 手法により「狛江ブランド農産物」として生産しています。その品目の中にある枝豆等も掲載することにしました。

・台紙の精査・確認

単なる写真台紙にとどまらず、絵手紙が立体的に見える台紙となる紙質や色を選択しました。

7. 写真台紙の特徴・作成ポイント

・表紙には、狛江の玄関口である狛江駅、野川の桜、多摩川五本松、古民家園、いちょう通りを写真フィルム風に配置しました。

中面には狛江の自然等を感じてもらえるよう、木、花、野菜の絵手紙をまんべんなく配置しました。

最終面には絵手紙の創始者である小池邦夫氏の絵を配置しました。

- 手に取ってもらいやすく保管しやすいサイズ（A5版サイズ）を採用しました。
- 多くの方に知っていただけるよう 1,000部作成しました。



8. 今後の展開

- 狛江市で出生届出した方に配布します。
- 子育て世代に向けたイベントでの活用・配布を検討します。
- 必要に応じて、増刷や型紙のホームページへの掲載を検討します。